

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													香里ヶ丘図書館周辺整備調整事務												
測定年度				2021(R3)年度				部		総合政策部				課		政策推進課									
市長公約との関係		所信表明			市政運営方針			R2		R3			R4												
総合計画体系		基本目標			1.安全で、利便性の高いまち																				
		施策目標			5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち																				
		実行計画名																							
1. 事務事業の概要																									
種類		内部管理				特性				内部事務				区分			一般内部管理事務								
事業期間		2016(H28)年度				年度		~						年度まで											
根拠法令等		決裁																							
関係補助金名称						サンセット																			
関係附属機関名称																									
事業対象		メインターゲット			香里ヶ丘地域における若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みの関係者(UR都市機構や庁内関係部署等)																				
		サブターゲット																							
		ターゲットが抱える課題			香里ヶ丘地域のさらなる活性化に向け、香里ヶ丘図書館周辺整備を公民連携で進めるための各種調整が必要である。																				
		ターゲットが抱える課題																							
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		香里ヶ丘図書館周辺整備に係る各種調整を行うことで、公民連携による若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みが円滑に実施される。																							
事業概要		香里ヶ丘図書館の周辺におけるUR都市機構や庁内関係部署等との公民連携による取り組みに関する連絡調整																							
2. ロジックモデル及び指標設定																									
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
						意見交換等の結果を踏まえ、各種調整を図ることで、円滑に公民連携による取り組みを実施できる。				香里ヶ丘図書館周辺整備に向けた、UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換を実施。															
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)															
		指標説明				公民連携による取り組みの実施に向け調整を図った件数				UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換の回数															
		単位				単位				単位															
		指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標															
		指標数値		R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5							
		目標(見込み)								1		3		3		3		3							
実績								0		1		0													
達成度						0%				0%															
分析						意見交換の結果、令和3年度も調整が必要な取り組みがなかった。				意見交換を行うような新規の案件がなく昨年度は実施しなかった。															

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.02
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	239	157		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	—	239	157		
	物件費計	—	0	0	0	—	
歳出計		—	239	157			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0		
	府支出金	—	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0		
	市債	—	0	0	0		
	その他	—	0	0	0		
	歳入計	—	0	0	0		
一般財源		—	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	若年・子育て世代の定住促進に向けた拠点として、香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的な整備の考え方に基づき、令和2年7月に香里ヶ丘図書館・中央公園のリニューアルオープンを行って以降は、新規に調整が必要な案件はなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、関係各所と連絡調整を行い、香里ヶ丘地域の活性化に関する取り組みを進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	学園都市ひらかた推進協議会事務												
測定年度	2021(R3)年度				部	総合政策部				課	政策推進課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-2.産学公連携の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1999(H11)年度				年度	~				年度まで			
根拠法令等	学園都市ひらかた推進協議会規約												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット		生涯にわたって学ぶ意欲のある市民										
	サブターゲット		枚方市内5大学(大学生含む)										
	ターゲットが抱える課題		市民の「学びたい」、「大学を知りたい」、「地域とつながりたい」と感じている。										
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	「学園都市ひらかた」の実現に向けて、各大学の特色及び大学生の声を生かした各種事業により、大学と市民及び地域、大学間及び学生間の交流・連絡が促進されている状態。												
事業概要	「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を行う。												

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
	児童・生徒や市民の「学びたい」、「大学を知りたい」、「地域とつながりたい」というニーズが満たされる。	市民等を対象として、枚方市、市内全5大学の学生や教員が参画した事業が行われる。				枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を行う。						
指標説明	学園都市ひらかた推進協議会で実施した事業に参加した市民(学生含む)の人数				学園都市ひらかた推進協議会で実施した件数				枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会の開催数			
	単位 人				単位 件				単位 件			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	2,600	800	900	1,000	1	4	4	4	2	2	2	2
達成度	115%				100%				100%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、各種事業への参加者が前年度より減少したが、目標は達成できた。今後もより多くの参加を促進できるよう、各大学と密に連携し、積極的な情報発信等に努める必要がある。				新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、各種事業の実施について、オンラインによる開催や「三密」を避けた運営方法などにより4事業を実施することができ目標を達成できた。				新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種会議はオンラインによる開催など、適切な感染防止対策を行ったうえで実施し、目標を達成できた。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.67
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,371	5,343	5,264		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	5,371	5,343	5,264		
	物件費計	180	180	0	180	—
	歳出計	5,551	5,523	5,264		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	5,551	180	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響により、各種事業への参加者が前年度より減少したが、各種事業についてオンラインによる開催や「三密」を避けた運営方法など適切に実施することができ、各指標では全て目標を達成することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後より多くの参加を促進するよう、各大学と密に連携し、積極的な情報発信等に努める。また、新型コロナウイルス感染症について先行きが不透明なため、各種事業について、引き続き、WEBでのイベント開催など、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した開催手法等を大学側と検討、調整していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称													地域活性化調整事務			
測定年度		2021(R3)年度			部		総合政策部			課		政策推進課				
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4						
総合計画体系		基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち												
		施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち												
		実行計画名														
1. 事務事業の概要																
種類		市民サービス			特性		内部事務			区分		一般事務事業				
事業期間		R3年度(2021年度)			年度		~				年度まで					
根拠法令等		決裁														
関係補助金名称		サンセット														
関係附属機関名称																
事業対象		メインターゲット		枚方市民												
		サブターゲット		枚方市に関わる事業者等												
		ターゲットが抱える課題		より魅力あるまちで生活や事業活動を行いたい。												
		ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)		枚方市東部地域や枚方市駅周辺等でのまちづくりが進むことで、市全体の魅力が向上し活性化した状態。														
事業概要		「枚方市東部地域の活性化に向けて」(令和4年3月策定)に沿った東部地域活性化の取組を進めるため、地域との窓口としての連絡調整や、取組の具体化に関する庁内調整を行う。枚方市駅周辺再整備に関する協議に参画する。														
2. ロジックモデル及び指標設定																
ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		人々の交流が盛んになり、地域が活性化される。				各主体と連携した地域活性化に資する取り組みが実施される。				各主体と地域活性化について検討する。						
指標設定		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)						
		指標説明		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合(4年に1回調査)				市主体で実施する「東部地域活性化の考え方」に基づく取り組みの実施件数				枚方市における東部地域活性化に関する取り組みの企画数				
		指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
		指標数値		R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				
		達成度														
		分析		令和4年度以降の市民意識調査において指標の推移を把握する。				令和3年度は、「枚方市東部地域の活性化に向けて」の策定や古民家活用に関する運用基準整理に取り組んだ。令和4年度以降、民間事業者等との協議や具体的な取り組みの検討及び実施に着手する。				令和3年度は、「枚方市東部地域の活性化に向けて」の策定や古民家活用に関する運用基準整理に取り組んだ。令和4年度以降、民間事業者等との協議や具体的な取り組みの検討及び実施に着手する。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	2.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	—	17,678		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0		
	特別職非常勤	—	—	0		
	附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	—	—	17,678		
	物件費計	—	—	0	0	—
	歳出計	—	—	17,678		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年度から東部地域活性化に関する事務が移管され、「枚方市東部地域の活性化に向けて」の策定など庁内協議を深め、今後の方向性の取りまとめを終えることができた。次年度以降は、関係部署と連携しながら地域、事業者等との協議を行い指標に掲げる取り組みの具体化を進めていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年3月に策定した「枚方市東部地域の活性化に向けて」に基づく取り組みを進めていく。枚方市駅周辺再整備については、関係部署と連携し引き続き各関係機関との協議を進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公民連携推進事務																			
測定年度	2021(R3)年度				部	総合政策部				課	政策推進課									
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4												
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり																	
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます																	
	実行計画名																			
1. 事務事業の概要																				
種類	内部管理				特性				内部事務				区分				一般事務事業			
事業期間	R2年度(2020年度)				年度	~				年度まで										
根拠法令等	決裁																			
関係補助金名称	サンセット																			
関係附属機関名称																				
事業対象	メインターゲット		市と連携する事業者																	
	サブターゲット		市職員																	
	ターゲットが抱える課題																			
	ターゲットが抱える課題																			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	公民連携に積極的に取り組む自治体であることが事業者等に認知され、様々なパートナーと連携できる状態 公民連携の考え方が市内職員全体に浸透し、公民連携事業により様々な市の政策課題が解決される状態																			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者等との市の一元的な窓口である「公民連携プラットフォーム」の運営。</li> <li>・公民連携プラットフォームを活用した「まちづくり提案事業」の実施。</li> <li>・大阪府公民戦略連携デスクや大阪府スマートシティパートナーズフォーラム等の関係機関との連携調整。</li> <li>・公民連携によるスマートシティ化の推進。</li> <li>・公民連携に関する市職員の意識醸成。</li> </ul>																			

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	公民連携事業が実施される。				市の課題解決に向けて公民連携事業が積極的に検討される。				公民連携プラットフォームを活用し、市の政策課題を積極的に発信する。							
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	公民連携事業の実施件数				公民連携プラットフォームにおける市が掲載した課題に関する事業者等からの提案数				公民連携プラットフォームに掲載する市の課題数(新規課題)							
	指標種類		単位		件		単位		件		単位		件			
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標(見込み)		-		15		20		-		-		10		15	
	実績		-		29				-		25		-		9	
達成度																
分析		担当課と連携がスムーズにでき、想定以上の実施ができた。				想定通りであった。				想定通りであった。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	公民連携事業が実施される。				全庁的に公民連携への積極的な姿勢が高まることで、事業者等から多くの提案が市に寄せられる。				公民連携に関する職員の意識を醸成する。							
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)							
	公民連携事業の実施件数				公民連携プラットフォームにおける事業者等が自由に検討した内容に関する提案数				公民連携に関する職員向け研修の参加人数							
	指標種類		単位		件		単位		件		単位		人			
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標(見込み)		-		15		20		-		-		150		200	
	実績		-		29				-		40		-		80	
達成度																
分析		担当課と連携がスムーズにでき、想定以上の実施ができた。				想定通りであった。				想定通りであった。						

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	3.31
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	26,007		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	26,007		
	物件費計	-	-	2,897	6,000	48%
	歳出計	-	-	28,904		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
		歳入計	-	-	0	0
	一般財源	-	-	2,897	6,000	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 指標の達成度については概ね想定通りであった。公民連携の推進に向け引き続き庁内外両方に向け周知を行っていきたい。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き公民連携の推進に取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称														政策推進課運営事務													
測定年度				2021(R3)年度				部		総合政策部				課		政策推進課											
市長公約との関係		所信表明		市政運営方針		R2		R3		R4																	
総合計画体系		基本目標		9.施策体系外																							
		施策目標		99.施策体系外																							
		実行計画名																									
1. 事務事業の概要																											
種類		内部管理				特性				庶務的事務				区分		庶務的内部管理事務											
事業期間		不明				年度		~		年度まで																	
根拠法令等		決裁																									
関係補助金名称												サンセット		-													
関係附属機関名称																											
事業対象		メインターゲット		政策推進課職員																							
		サブターゲット																									
		ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある。																							
		ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)		庶務関係事務等を正確かつ迅速に処理することにより、所管事務の円滑な執行が図れている状態。																									
事業概要		<input type="radio"/> 課の運営業務 <input type="radio"/> その他庶務事務																									
2. ロジックモデル及び指標設定																											
ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
指標設定		指標説明																									
		指標種類		単位		単位		単位																			
		指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5												
		目標(見込み)																									
		実績																									
		達成度																									
分析																											

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.77
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。  
 (千円)

#### 4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	-	-	6,050		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	-	-	0		
	特別職非常勤	-	-	0		
	附属機関委員	-	-	0		
	人件費計	-	-	6,050		
	物件費計	-	-	0	0	-
	歳出計	-	-	6,050		
歳入	国庫支出金	-	-	0	0	
	府支出金	-	-	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	-	-	0	0	
	市債	-	-	0	0	
	その他	-	-	0	0	
	歳入計	-	-	0	0	
	一般財源	-	-	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 適切に庶務関係事務を行うことにより、所管事務を円滑に執行できた。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き円滑な所管事務の執行に向け、庶務関係事務を適切に行う。